

漢字表と漢字調査の流れ

「常用漢字表」や「表外漢字字体表」を作成するに当たっては、種々の漢字調査が行われ、その結果を活用してきた。その流れは、次のとおりである。漢字調査は、現実の文字使用の実態を把握するために行われてきた。

昭和21(1946)年 1月 「当用漢字表」内閣告示
昭和23(1948)年 2月 「当用漢字音訓表」内閣告示
「当用漢字別表」内閣告示
昭和24(1949)年 4月 「当用漢字字体表」内閣告示

昭和37(1962)年 3月 「現代雑誌九十種の用字用語 (第1分冊)」

昭和38(1963)年 3月 「現代雑誌九十種の用字用語 (第2分冊)」

- ・昭和31年の雑誌90種が対象の標本調査
- ・延べ語数270,000語 延べ漢字数280,094字
- ・国立国語研究所が実施

昭和51(1976)年 2月 「現代新聞の漢字」

- ・昭和41年1年間の朝日新聞, 毎日新聞, 読売新聞が対象の標本調査
- ・延べ漢字数991,375字
- ・国立国語研究所が実施

昭和50(1975)年 5月 「漢字出現頻度数調査〔I〕」

- ・凸版印刷の印刷した書籍が対象
- ・延べ漢字数3,572,299字

昭和51(1976)年 2月 「漢字出現頻度数調査〔II〕」

- ・凸版印刷の印刷した書籍が対象
- ・延べ漢字数35,302,308字



昭和56(1981)年 10月 「常用漢字表」内閣告示

平成 9(1997)年 1 1 月 「漢字出現頻度数調査」

- ・凸版印刷，大日本印刷，共同印刷の印刷した書籍が対象
- ・なるべく最新のデータを幅広いジャンルから収集
- ・延べ漢字数 37,509,482 字

平成 1 2(2000)年 3 月 「漢字出現頻度数調査(2)」

- ・凸版印刷の印刷した書籍及び読売新聞が対象
- ・ジャンルごとのデータ量のバランスを考慮
- ・平成 11 年 7 月 1 日～8 月 31 日の朝刊・夕刊(テレビ・ラジオ欄，広告欄は除く)
- ・延べ漢字数 33,301,934 字

平成 9(1997)年 1 0 月 「字体・字形差一覧」

- ・JIS 第 1・第 2 水準の範囲の漢字について八つの書体を並べて，その差を見比べられるもの

平成 1 1(1999)年 「明朝体活字字形一覧」

- ・明治以来の日本で使われてきた明朝体活字の字形を並べ，その差を見比べられるもの



平成 1 2(2000)年 1 2 月 国語審議会「表外漢字字体表」答申

平成19(2007)年 3月 「漢字出現頻度数調査(3)」

- ・凸版印刷が印刷した書籍，週刊誌，教科書が対象
- ・ジャンルごとのデータ量のバランスを考慮
- ・延べ漢字数 50,052,724 字

平成19(2007)年 3月 「漢字出現頻度数調査(新聞)」

- ・朝日新聞及び読売新聞が対象
- ・平成18年10月1日～11月30日朝刊・夕刊(テレビ・ラジオ欄，広告欄は除く)
- ・延べ漢字数 3,674,613 字

平成19(2007)年12月 「漢字出現頻度数調査(ウェブサイト)」

- ・ウェブ上のニュース，ブログ，プレスリリースなどが対象
- ・平成19年2,4,6月の各1か月分
- ・延べ漢字数 1,390,997,102 字
- ・掲示板サイトの調査結果は，アスキーアートの影響があり，利用できず
(延べ漢字数 1,737,391,850 字)

平成20(2008)年 3月 「出現文字列頻度数調査」

- ・「漢字出現頻度数調査(3)」に基づき，調べたい漢字に前後1字ずつを加えた3文字の文字列ごとの出現頻度
- ・調べたい漢字がどのような言葉で使われているのかを推測する手掛かり



平成22(2010)年11月 「常用漢字表」内閣告示